

## ニッセイ財団「児童・少年の健全育成助成」助成団体の例（平成27年度）

### 助成対象分野 1：自然と親しむ活動

- この分野では、子どもたちが生活圏の中で日常的・継続的に土や水・動植物等の自然と遊び親しみ、様々な体験を積み重ねることにより、生きる力を育むことを重点としています。
- 具体的には、
  1. 野外活動、自然体験活動、農園活動
  2. 自然観察、天体観測、自然・森林の保護活動
  3. 野外活動を通じたジュニアリーダー育成活動 など
- 日頃の活動場所が子どもたちの生活圏から離れていても、継続して体験を積み重ねることにより、生活圏の中にある自然に気付き、親しむようになる活動展開を希望します。
- そのため、単発のイベント・行事は助成対象外とします。

キーワード：「自然とのふれあい」「実体験を通じて生きる力を育む活動」

団体名 (所在地)・設立	[活動の名称] 活動内容 (抜粋)	助成内容 (助成額)
ごわジュニアクラブ 実行委員会 (大分県日田市) 平成25年4月設立	<p style="text-align: center;"><b>〔野外活動を通じたジュニアリーダーの育成活動〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 地域の練り歩きキャンプ（2泊3日）で地域を歩いて自らの五感で地域を知ってもらう。子どもたちの手作りご飯で地域の高齢者との食事交流会を開催する。地域住民の敷地を借用してテントを張り野外活動をする。</li> <li>◦ 自然体験キャンプ（1泊2日）で地域の自然を学び、その活動で学んだことを他の子どもたちに啓発してもらう。ジュニアボランティア養成では、町にある古墳を現地と机上で学んでもらい、将来、遺跡が公園化された時にガイドをしてもらう。</li> </ul>	キャンプ用 テント・用具 (58万円)
人の輪ネット (東京都千代田区) 平成23年9月設立	<p style="text-align: center;"><b>〔防災プログラムによるジュニアリーダーの育成活動〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 東日本大震災を経験して東京に避難中の子どもたちが、防災および減災の技術をアウトドア活動を通じて楽しみながら学ぶ。</li> <li>◦ 被災した辛い体験を防災スキルを学ぶことで強みに変えていく。</li> <li>◦ アウトドア活動によって震災のPTSD（心的外傷後ストレス障害）の癒しを行なう。</li> <li>◦ 被災し避難した子どもたちを将来の防災リーダーとして教育する。</li> <li>◦ 毎月1回、郊外の自然の中でアウトドア活動を行い、火の起こし方、救助の求め方、災害時の調理法などの防災および緊急時対応技術・サバイバル技術を実践的に学ぶ。</li> </ul>	キャンプ用 テント・防災用品 (40万円)

## 助成対象分野 2 : 異年齢・異世代交流活動

### (1) 地域コミュニティ活動、ジュニアリーダー活動等

<ul style="list-style-type: none"> <li>● この分野では、様々な年齢の子どもたちが、地域の中で継続的に交流することや共に活動する中で、お互いの個性を認めあったり理解を深めたりすることに重点を置きます。</li> <li>● 具体的には、1. 地域コミュニティ活動、ジュニアリーダー活動 2. 中高生を中心とする居場所づくり活動 など</li> <li>● 地域コミュニティ活動は、定例活動を行っている団体を対象とし、「餅つき大会」「盆踊り大会」等のイベント的な活動のみを行う子ども会・連絡協議会等は対象外とします。</li> <li>● 異年齢の子どもたちで団体を構成していても、実際の活動を年齢別に行っている場合は対象外となります。</li> </ul> <p>キーワード：「地域の中での異年齢集団」「共に理解を深める活動」</p>
--

### (2) 郷土芸能等の保存・伝承活動

<ul style="list-style-type: none"> <li>● この分野では、世代から世代へ受け継がれてきた地域に伝わる郷土芸能や伝承遊び・生活の知恵等を保存・伝承する活動に重点をおきます。</li> </ul> <p>キーワード：「地域固有の伝統の伝承活動」「世代間での知恵の伝承活動」</p>
---

団体名 (所在地)・設立	[活動の名称] 活動内容 (抜粋)	助成内容 (助成額)
あおぞらピヨピヨ合唱団 (福岡県福岡市) 平成25年4月設立	<p><b>[音楽による地域コミュニティ活動]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 「音楽を通じて子どもたちの情操を育み、子どもたちの社会参加の機会を作り出し、関わるコミュニティの活性化に貢献する」をコンセプトに結成。</li> <li>◦ 子どもたちのミッションは、「地域のみんなを笑顔にすること」として、高齢者福祉施設への訪問演奏・地域イベントでの演奏を行っている。</li> <li>◦ 演奏会の企画・運営などは、基本的に子どもたちの主体的な話し合いによって行っており、訪問先との打ち合わせについても、児童代表が中心になって進めている。</li> </ul>	音響設備 (57万円)
西若座子ども歌舞伎 (茨城県常陸大宮市) 平成13年6月設立	<p><b>[郷土芸能の保存・伝承活動]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 西若座は、現存最古といわれる組立式農村歌舞伎舞台「西塩子の回り舞台」を地域活性化のために半世紀ぶりに復活させたことをきっかけとして結成。その後、子どもたちにふるさとと自分に対して誇りと自信を持たせることを目的として子ども歌舞伎も結成。</li> <li>◦ 子どもたちは、歌舞伎の習得を通じて地域に残る組立舞台と関わりを持ち、組立てや運営・舞台操作を担当する様々な世代の大人たちと交流し、観客を前に堂々と演技することで、地域文化に対する親しみと誇りを醸成している。</li> </ul>	歌舞伎かつら (58万円)

### 助成対象分野3：子育て支援活動

- この分野では、「育児不安」に象徴される地域の中で孤立して子育てをしている親子が、子育てサークル等の地域活動に参加することによって、地域の中でネットワークを形成したり、地域で子どもを育てる環境づくりにつなげることを重点としています。
- 具体的には、
  1. 子育てサークルのように、親子で気軽に参加して情報交換をしたり、同じ年頃の子どもを持つ親として悩みを話し合える活動
  2. 子育てサロンの運営など子育てネットワーク活動
  3. 文庫活動、読み聞かせ、音読、人形劇活動 など
- そのため、親子がお客様として参加するイベントを企画・運営する活動や子どもだけが参加する託児的な活動は助成対象外とします。
- 行政主導型のものは助成対象外となります。

キーワード：「親子で参加する活動」「親以外の大人・子育ての先輩との交流」  
「子育て・親育ち」

団体名 (所在地)・設立	[活動の名称] 活動内容 (抜粋)	助成内容 (助成額)
<p>中野宝橋だいかぞく (東京都中野区) 平成25年12月設立</p>	<p><b>[異世代交流と自然体験を通じた子育て支援活動]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 核家族化・少子化が進む都心の子どもが健全に育つために、「世代を超えて子育てをシェアし、みんなでみんなの子どもを育てていく」ことをコンセプトに、地域の4世代が家族のように集い、一緒に遊び・学び・食事を共にし、協力し合って成長していく、そんな昔では当たり前の光景、「古き良き日本の姿」を再発見し、今に活かす活動。</li> <li>・ 平日の週3回、0～3才の異年齢の子どもと一緒に半日室内半日屋外で取り組みをすることで、EQ（心の知能指数）を育てる。</li> </ul>	<p>子ども用遊具 (38万円)</p>
<p>ブックマーマ おはなしの会 (和歌山県太地町) 平成15年10月設立</p>	<p><b>[影絵劇・読み聞かせ等による子育て支援活動]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口3,300人余の太地町において少子高齢化が進む中で、母子の孤立化を防ぎ、地域コミュニティの維持活性化を図り、子育て・親育ちを支援することを目的として活動。</li> <li>・ 当地方では唯一の影絵劇、4ヵ月乳児を対象としたブックスタート、こども園・小学校での読み聞かせ、中学1年生の読み聞かせ指導、母と子の遊びを応援するおもちゃ広場の開催を継続的に行っている。</li> </ul>	<p>絵本・影絵劇用具 (35万円)</p>

#### 助成対象分野4：療育支援活動

- この分野では、ハンディキャップや様々な個性をもつ子どもたちが、地域の中で継続的に交流することや共に活動する中で、お互いの個性を認め合ったり理解を深めることに重点を置きます。
- 障がい（身体障がい・知的障がい・精神障がいならびに発達障がいを含む）のある子どもたちの自立を支援する活動や地域で暮らしていくための活動も対象です。

キーワード：「地域の中での交流」「共に理解を深める活動」

団体名 (所在地)・設立	[活動の名称] 活動内容 (抜粋)	助成内容 (助成額)
<b>重度・意識障害者（児） のくらし向上へ共に歩む 「めざましの会」 (富山県高岡市) 平成19年10月設立</b>	<b>[障がいのある子どもたちの療育支援活動]</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 重度の身体障がいを持つ子どもたちが、生き生きと笑顔で楽しく活動したり、身体機能を保持し高める音楽運動療法等を通じて、親子・家族間の交流を深める。</li> <li>◦ 地域の子どもたちと関わる活動・交流の開催を通じて、地域で暮らす障がいのある子の存在を知ってもらい、関わりをもつことで、みんなが心豊かに暮らせるノーマライゼーションを目指す。</li> </ul>	福祉機器・用具 (50万円)

#### 助成対象分野5：フリースクール活動

- 不登校の子どもたちの急増という社会状況の中で、このような子どもたちに対する多様な社会的支援の必要性がクローズアップされており、そうした社会要請に応えるフリースクール活動を行っている民間団体を支援します。
- 具体的には、
  1. 不登校の子どもたちへの教育支援活動
  2. フリースクール運営活動
- 行政主導型のもの、例えば公的な受入れ施設「適応指導教室」は助成対象外となります。

団体名 (所在地)・設立	[活動の名称] 活動内容 (抜粋)	助成内容 (助成額)
<b>特定非営利活動法人 フリースクール沼津 (静岡県沼津市) 平成20年1月設立</b>	<b>[農園活動等を通じた児童の健全育成]</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 何らかの要因・背景により登校しない、もしくはしたくともできない児童・生徒の居場所をつくり、心のケアをしながら、学校・社会復帰へと導くことを目的とする。</li> <li>◦ 農作業を継続的に行う中で、他者と関わりながらコミュニケーション能力や自己肯定感を養い、互いに認め合い協力することや最後まであきらめないことの大切さ、集団活動におけるルール等を子どもたち自らが体験的に学べる場にする。</li> <li>◦ 農作業の指導をしてくださるのは老人会の人たち。地域の人と関わることで、子どもたちの社会への関心度も増す。</li> </ul>	農作業用具 (60万円)